

能-BOXゼミナール2022

歴史から繙く日本の芸能



1 8月 6日(土) 14:00 女性と能 ～草創期から現代まで



津村 禮次郎

- ◆能楽師シテ方観世流
- ◆緑泉会会主
- ◆重要無形文化財(能楽総合)指定保持者

(社)日本能楽会、公益財団法人能楽協会会員。二松学舎大学文学部特任教授。一橋大学社会学部講師。大学在学中に一橋観世会に所属し、津村紀三子に師事。1969年観世流師範。74年に緑泉会会主。91年重要無形文化財保持者に認定される。79年より小金井新能を企画制作。新作能、創作活動、海外公演も多く、アレッシオ・シルベストリン、森山開次などダンサーとも共作、共演している。2010年度文化庁文化交流使としてロシア、ハンガリーで指導交流を行う。著作に「能・狂言図典」「能がわかる100のキーワード」。また「舞幻[BUGEN]」を出版。その他、写真集「能(PIE BOOKS)」等に多数掲載される。15年にはドキュメンタリー映画「躍る旅人 能楽師・津村禮次郎の肖像(三宅流制作監督)」が公開された。

2 9月10日(土) 14:00 江戸時代の服飾文化と能 ～能の受容と意匠



大久保 尚子

- ◆宮城学院女子大学教授

専門分野は日本の服飾および染織文化史。博士(人文科学)。近世後期の江戸から近代東京にみられる服飾、染織文化の連続性と変容に関心を持つ。特に芸能、文芸、浮世絵や挿絵類と意匠創案との接点、出版メディアの果たした役割に注目している。主な著書『江戸の服飾意匠一文芸、美術、芸能との交流と近代への波及』(中央公論美術出版、2015年)、『ビジュアル日本の服装の歴史②鎌倉時代～江戸時代』(ゆまに書房、2019年)など

3 9月17日(土) 14:00 平家物語と琵琶 ～鎌倉時代からの口承文芸



山内 とも子

- ◆前田流平家詞曲相伝者
- ◆平家琵琶研究保存会会員
- ◆平家がたり友の会代表

昭和49年3月平家詞曲全てを伝承していた館山甲午に師事し、翌年6月には東京神田岩波ホールにて初演並に灌頂五句・大秘事・小秘事を習得。51年に「平曲会」を自主公演して演奏活動と後継者育成を開始した。昭和54年には前田流平家詞曲・秘曲撥の全てを相伝。平成元年招聘をうけてスイスのゲーティアヌムにて公演。平成6年京都へ転居して活動を関西中心に行い、特に平家物語ゆかりの神社仏閣での献奏を主とした。帰郷後に平家がたり友の会を設け、月例会は12月で百回を迎える。白石市出身。仙台市在住。

4 10月15日(土) 14:00 雅楽から能へ ～楽器の歴史考



高桑 いづみ

- ◆東京文化財研究所
名誉研究員

東京生。能楽の音楽や演出、楽器をテーマに研究をおこない、NHK日本の伝統芸能やFM能楽堂などで能楽の解説をつとめる。『能楽タイムス』で能評も担当。現在、東京文化財研究所名誉研究員。第21回東洋音楽学会田邊尚雄賞(2003年)、第35回観世寿夫記念法政大学能楽賞(2013年)受賞。著書に『能の囃子と演出(2003、音楽之友社)』、『謡・狂言 謡の変遷(2015、繪書店)』など。早稲田大学文学部演劇研究科より博士(文学)の学位取得。

5 11月19日(土) 14:00 仮面と能 ～演者が語る面(おもて)の魅力



山中 迺晶

- ◆能楽師シテ方観世流
- ◆重要無形文化財(能楽総合)指定保持者

仙台市在住。2歳で初舞台を踏む。現代における能の可能性を求め多彩に活動している。既存の能楽にとらわれない自由な発想と行動力で幅広く活躍し、現代における能の可能性を模索している。また、ミュージカル振付、演出、衣装デザイン、映画、舞台出演など異ジャンルでの活動も多数。重要無形文化財総合指定保持者。

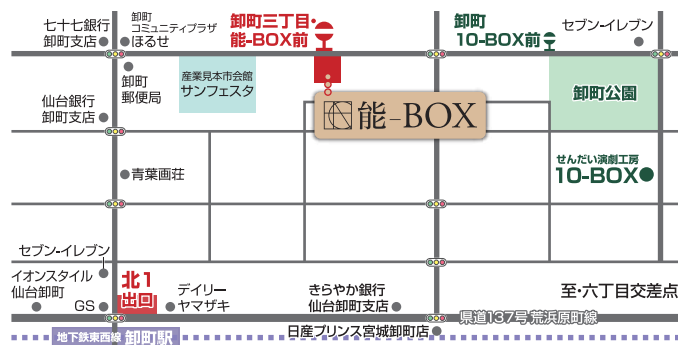
聞き手 小塩 さとみ

- ◆宮城教育大学教授

幼少時よりピアノを習ったり、合唱団に所属したりして音楽に親しむ。国際基督教大学に入学しサークル「長唄研究会」で三味線に出会う。その後大学院に進学、長唄の音楽構造について研究し、お茶の水女子大学大学院より博士号取得。現在は宮城教育大学で音楽学を教えている。著書に『現代日本社会における音楽(放送大学教育振興会)』、『日本の音・日本の音楽(アリス館)』など。

【会場】能-BOX [仙台市若林区卸町2-15-6]

- 【アクセス】●地下鉄(東西線):「卸町駅」下車、
〔北1〕出口より徒歩約10分。
●市営バス:「卸町三丁目・能-BOX前」下車、
バス停向かいの銀色の倉庫が能-BOXです。
※お車で越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用ください。



《新型コロナウイルス感染リスク低減のための取り組み》

- スタッフのマスク着用と手指消毒の励行、検温等の体調管理を行います。
- 会場内の定期的な清掃と消毒を行います。
- 会場の定員100名のところ60名程度に制限し、常時換気システムを稼働します。
- 出演者と客席との距離を2m以上離します。

《ご来場の皆様へのお願い》

- マスク着用、咳エチケット、手指の消毒等をお願いします。
- 外出前の検温など体調チェックを行い、体調不良の場合にはご来場をお控えください。

ご連絡先 | せんだい演劇工房 10-BOX

電話 > 022-782-7510 [9:00~21:00]

メール > contact@gekito.jp

主催 | 公益財団法人仙台市民文化事業団
協力 | 仙台市能楽振興協会 / 協同組合仙台卸商センター